

8/20(土) 14:00~15:10 清和台小学校 参加者 28名 発言者 のべ10名  
○…ご質問、ご意見 →…川西市教育委員会の説明

#### <地域の方>

○今回、また新たな学校統合とか再検討されるというふうに言われたんですが、推計を見ましたら、清和台小学校の方が清和台南よりもちょっと人数が増えているような資料なんですけれども、前回南小学校で統合するという話を聞いたんですが、その経緯について教えていただいてもよろしいでしょうか。

→清和台南小学校の方に統合を進めていくことになったという経緯でございますが、清和台小学校それから清和台南小学校のひとつは色々な設立年度だったりとか校舎の状況であったりとかを、敷地の面積であったりとか、それから今後進めていく小中の連携あるいは、一貫ということを進めていくときの中学校との距離の問題とか、そういうことを総合的に見たときに清和台南小学校の選択をさせていただいたという経緯があります。

例えば設立年度については、清和台南小学校の方が新しい校舎であるとか、造りに言えば、例えば4階の校舎と3階の校舎とあれば、どちらの方が子どもが生活しやすいかであるとか、そういった施設面、それと先ほども言いましたけれども、中学校との教育、そういったことで清和台南小学校の方を選定させて頂いたという経緯でございます。

#### <在籍 保護者>

○清和台小学校の子どもの保護者です。説明の方を一連聞かせて頂きました。疑問点が2点ありますので、そちらの方を質問させていただきます。一点目なんですけれども今後の対応についてなんですけど、両地区における統合方針を変更しない。ただし、現時点で示している統合年度は、再検討ということなんですけれども、今、教育委員会でおおよそ考えていらっしゃる、このへんで統合かもしれないなっていう統合年数っていうのが、今ちょっと示すあたりで考えていらっしゃるものかどうかっていうことが一点目です。2点目なんですけども、今回、緑台小学校と陽明小学校が統合する、ということで清和台小学校と清和台南小学校とが統合するということでポイントとしては2校ありました。今回、延期となれば緑台小学校の方が先に統合する予定だった、2番目に清和台小ということだったんですけども、その順序っていうのも変わってくるのかどうなのかっていうのも確認とらせて下さい。

→まず一点目ですけど、いつの年度につき統合するのか、具体的な考えを、今持っているのかっていうご質問だと思うんですけども、現時点ではこの時期にというのは具体的には、まだ考えておりません。それから、2点目ですけど、清和台地区あるいは多田グリーンハイツ地区の統合年度は、逆になるということはあるのかどうかということなんですけれども、一番目の質問と関連するんですけども、それぞれの地区の子ども達、児童推計がどのように

変わっていくのか、そういった事も見ながら、また教育的な視点でもう一回ここらあたりに  
いうのを考慮していくのかとかということも全て総合的にもう一度、見直していくというこ  
とでございますので、可能性として、逆転することもありうるということでございます。そ  
れぞれの地区ごとに子ども達の推計を見ながら、また子ども達の状況、街の様子も見ながら、  
どの時点であるのかということのを再検討していくというのでございますので、それぞれの地  
区の一番良い段階でということになると思いますので、逆転する可能性もございます。

#### <地域の方>

○私は西5丁目に住んでおまして、娘と孫がこの東1丁目の一番北の端でここでお世話になりま  
した。東1丁目の端からここへ学校統合でも15分もかかるやろうと、ところが今私はこの南小学  
校の横ですから、歩いたら1時間かかります。だから一年生をここまであれや思います、交通安全  
も、それから体力的にも非常に危険なんですね、その他の危険性についてどのように把握をなさ  
てるのか、ということが一つです。

それから、今の方針ではこれだけの方針は変更しない、ただ実施年度だけは変えるというこ  
です。なぜ単学級が出来たら学校を潰さなあかんのですか。むしろ単学級になれば、それだけ子ども  
達に行き届いた教育が出来る。欧米では15人から20人学級です。35人ではありません。

学校規模も100人規模です。そういう1000人規模ですか。とにかく学校規模も日本の何分  
の1なんですね。だから私は今、全国で学校統合でやられてきました。私は大阪市で中学校で理科  
を教えてきました。大阪市もどんどん今統廃合で学校が潰れています。

そうしますと大阪市のまず子どもたちの影響で何が出てきたかというたら暴力が多発している、  
暴力事件。これが全国平均の2倍近くあります。もう一点は、不登校、これも激増して、約1.5倍  
から2倍くらいになっているね。やっぱりどんどん学校を潰して、そして子どもたちやっぱり精神  
的に不安定で学校に行かない子、そして色々いざこざが起こってそして、暴力を奮う場合によっ  
ては、教師にまで対教師暴力が起こります。なぜこういう子どもの少子化のツケを子ども達や親達に  
回すんですか。なぜ人数が減ったら、それだけ行き届いた、学級の人数が減ればがそれだけ行き届  
いた教育が出来ます。わざわざ単学級が出来たからといって、これだけの学校を潰すわけです。こ  
れだけの広い敷地、子どもらの私も運動会も何回も見に行きましたけれども、本当に子ども達が、  
のびのびと伝わってきました。他もサッカークラブなどやらせて頂きました。そういった条件を何  
でわざわざ潰して、南小まで行って、そして南小も、より教育条件を軽くする、そういったもとも  
との適正化が欲しい。東京でね学校選択制が出来ました。私もこれも大変やでと、案の定、子ども  
達が選んだ学校へ行く。そしたら選ばれた学校は何倍もの競争で、選ばれなかった学校は結局、  
みんな潰れていきます。統廃合でね。そういうことをやると、もし子どもが遠いところへ行く。地  
域と切り離され、やっぱり狭い地域の中で、地域の者が顔を知ってる、そういう中での地域の取り  
組み力が発揮されるだろうと思います。質問は、そういった今まで行われてきた学校統廃合でね、  
大阪市の暴力、それから不登校言いましたけど、そういったことについてもほかにも、色々調べ、  
研究されたかどうか。それから、最初言いました子どもの交通の安全保障の問題で本当に子どもた  
ちが安全に、スクールバスを回して1時間かけて回るようなそんなことを考えておられるんじゃない  
んですかね。もっと、子ども達や親の立場に立った教育、行政を是非そうして欲しいと思います。

以上です。

→今、ご質問をいただきましたその中で、まず一つは全体的なところで、まず一つは、学校校区のあり方ということで、審議会の方で、答申をいただいている中の3つの原則、先ほどもスクリーンの中で説明させていただきましたけれども、「各学校の教育の十全な展開と学校間の教育上における平等性の確保」、これは、例えば大規模校と小規模校によってやっぱり、色々こう教育の内容が変わってくるという、そいったところを出来るだけ、市内同じような形で、どこの学校も教育が行われてることをしていきたいという視点です。

もう一点、「通学上の安全の保持」、今、ご質問の中にありました。それから「校区と地域の関係性への配慮」、ということで、まず、この清和台地区におきまして、ひとつは、1つのコミュニティというか集団校区という意味では、ひとつの地域であると、清和台小学校と清和台南小学校がひとつの地域であるという所で、統合することによっても、それは関係性は保たれるというふうに考えております。

それから、「通学上の安全の保持」そのことについては、今、具体的に、どのようにということは、先ほどスクールバスを回すのかという話がございましたけれども、ある意味スクールバスというのも一つの方法かもしれませんし、あるいは今、現在使われてます路線バスを利用するとかいう方法もござますし、その辺りは、色々な方法をこれから考えていかなければならない、そう言ったことで、今後の手順の中で、今後の課題という中で、そういった辺りもしっかりと考えていきたい。

例えば1時間歩いて、それは仕方がないのではないかと、それくらい当たり前だということ、そういう考えではございません。やはり1時間、小さな1年生の子どもが歩いて行くということはこれは大変なことだというのは充分認識した上で、ではどのようにすると子どもの負担が少しでも少なくなるのか、あるいは安全はきちっと確保出来るのかと、こういったことについては、今後、しっかりと検討した上で、また、お示しさせていただいて、皆様のご意見を伺いながら進めていきたいというふうに考えております。

それと単学級で、なぜ統合してしまうのか、先ほど言いましたけれども、教育上の平等性という難しい言葉で言ってしまうとそうなんですけども、現実問題として、1つのクラスは1年生、低学年であれば35人というふうに決まっています。35人の中で生活をしていく訳ですけども、そのことが仮に6年間同じクラスで35人で生活していくという、そういう形と仮に2クラス3クラスあった時には、その集団が変わっていく中で、色々な子ども達の出会いとか、そういった、いわゆるコミュニケーションと言いますか、そういった人と人とのつながりですよね。そういった所とどちらを取るのかっていう、そういう話になってくると思うんです。我々としましては、やはり子どもがしっかりと社会に出ていく中で、やっぱり、ある程度、一定規模の集団の中で、6年間過ごしていくということは非常に大切なことかなというふうに考えています。

そういったことで、何も単学級を否定するわけではございませんけれども、やはりある一定規模の人数を確保した上で、学校というのは成り立っていくというふうに考えており

ます。また、子どもの数ではないんですけれども、先生方の立場で言うと仮に本当に小規模になっていった時に、仮に各学年1となったときには、教員数は担任とですね、それとあと校長、教頭そういった中で、はたして、学校の中が上手く回っていくのかっていう、そういった責任もございます。あくまでも子どもが、しっかりとある一定人数の中で色々な刺激を受けながら育っていくというのが、根底にはございますけれども、その裏側には、やっぱり教師の正常な勤務のあり方っていうことも含まれております。

あと暴力の件と不登校の件のお話が出ました。市内に限らず色んなところで暴力事件であったりとか、小さなことを言えばクラスの中で子ども同士の諍いとか、色んなことございますし、不登校の問題も決して川西で不登校が0という状態ではございません。

ただ、その「不登校、暴力」＝「単学級であるから」というような捉え方は、我々はしておりません。大きな学校でも当然起こりますし、小さな学校でも起こります。直接、全く関係がないとは申しませんが直接的な原因は別にあるのではないかと、単学級になったからといって、暴力事件が増える、あるいは、不登校が増えるというふうには、我々の方では、捉えておりません。以上です。

→それから、阪神7市1町の教育長会議があります。全国的にもですね、学校配置適正化については、本当に1つの大きな課題ではあるんです。その中で、私も大阪市のことを調べています。そうすると大阪市は27年度はですね、小学校が292学級からですね、そのうち、11学級以下が108ぐらいあります。そのうち11学級の中でだと、特に6学級以下は、37になります。71は7、8、9、11学級ですね。

11学級ということは6学年のうちに、1学年は単学級です。

もうひとつは、6学級以下のところは37ということは、ここはですね、特支学級を含めて、大阪市内二十何区かあるわけですよ。どこにも、そういった本当に小規模な学校を抱えて、今、部長が言いましたけども、そういう面では、100人以下ですよ。

各学年で考えると20人以下、運動会1つに取るしても、半分にしても10人程度でお互いにスポーツや運動、音楽、合唱コンクールそういう行事でも一定に制約がかかってですね、あと実際に行事もそうですけども、1年生から6年生までずっと同じ学年でいくわけですから、本当に今、人間関係の不平だとか、ある面では、クラス替えできない状況の中での社会性のもっと膨らみを作っていくことも難しくなってくるんですね。そういったことが、ずっと交錯しながら続いているんです。それは、私も調べて、びっくりしたんですけども、あれだけの大都市ですけども、大阪のほうでも、108ぐらいの学校が11学級以下でそれについて、当時は、ここでやりましょう、ここでやりますって、大阪もなさってたんですけども、結果的には、それでは難しい状況で指針を作られました。

本当にきちっと手順を作って、本当に、6学級以下の状況、7、8、9学級の状況は、どうか、10、11学級はどうか12学級以上、適正規模は、12から、上限で24学級また18学級でいってますけど、そういう1つの範疇が一方にあるとすれば、最低限でもクラス替えが出来るぐらいの集団規模というのは子ども達の今の時代であれば必要であるなということを感じています。小豆島であったですね、24の瞳の時代、ある部分です

ね、一定思うことがあります。ところが実際に現実に大阪のど真ん中の都市の中で、50人60人の学校があつてですね、同じ中学校区の中で2つか3つを一緒にして、最低でも2学級以上の学年をつくれるような、取り組みをされているのも事実です。

当然、川西と同じようにですね、色々ご意見があつて調整しながら、なさっているんですけど、本市の今、清和台地区におきまして、11学級になるかならんかというところの状況の中で、子どもたちの数を一定で推移、維持できる状況も出てきたと。その中で、本当にきちっと本来の児童数の推計とか、まちづくりの視点からいきますとね、別の角度からの取り組みも含めて再検討して、今後の手順、方向性をもう一度検討を進めていきたいというふうに思っていますのでよろしくお願いいたします。

#### <地域の方>

○地域の者ですが、小学校の統合に関して再検討の決定ということで、28年度6月に教育委員会の方で決定されたということに関しては、まあ、いい判断されたんじゃないかなというふうには、思います。その後、市議会の方に6月の末ぐらいに説明されたと思います。それをもって地域の説明会が今日に至ったわけなんですけど、ちょっと日にちが空きすぎじゃないかなと思います。なぜかと言ったら、市議会の報告の中で説明された傍聴者の方々からね、やはり地域に帰ってこられて、「統合の問題、白紙なんだよ」とかね、というような、流言飛語が、かなり出てた時期もあつたんですわ。そうなるとうち地域が混乱を招く部分がありますから、次のページの5ページかな、4ページかな、学校配置の適正化に関する具体的な手順の作成についてもですね、作成されたものを議会の方にも報告されると思うんです。報告されれば、出来るだけ早い段階で地域への説明会をしていただければ、そういった流言飛語的なものは出てこないんじゃないかなというふうに思いますので、ちょっとお願いとして、そういう形で説明を次回していただければなというふうに思いますのでよろしくお願いいたします。

→今、ご意見いただきましたように、本当にこう説明会が暑い時期で遅くなってしまい申し訳なく思っております。今更言っても言い訳になってしまうんですけども、当初、早い時期にと思ってたんですけども、衆議院選挙のこととか、それから会場の各場所のご都合とか、なかなかうまく調整がつかなかったということです、それとまた、お盆辺りを出来るだけ、避けたいということでこの時期になってしまいました。本当に言い訳になってしまうんですけども、次回、手順が出来たときには、速やかに説明会の方を開かせていただきたいと思っております。本当に申し訳ありませんでした。

#### <在籍 保護者>

○こちらの方からお願いということがあつたので、保護者の方からですね、ひとつお願いがあるんですけども、前年度ですね、27年度に校区審議会が行われて、教育委員会で決まったということが、PTAの方にも降りて来て、統合って話で進んでいたと思うんですけども、当初、PTAの方ではですね、統合するといったことは寝耳に水の状態で何も聞かされてなかったんですね。な

ので、今後、進める手順においてはなんですけれども、重ねてお願いしたいんですが、適正化に関する手順の作成についてってとがあります、新たな児童推計の手法、これは、住基台帳の方に基づいてされると思うんです。その住基台帳に基づいて、これはもう統合は免れないという話が、教育委員会におりたときに必ず、その時点で決定をくださるのではなくて地域住民の方とか、学校の教師の方とか、PTAの実際学校に通わせてる親御さんにですね、打診をしていただきたいんです。今この状況が本当に芳しいものではないのかどうか。この状況を脱したいのか、そういう地域の方や保護者の方に聞いていただいて、その現場の声を聴いた上で、今後教育委員会としてどうしていったらいいのかっていうのを、子どものことを考えて、事業を進めて頂けたら、前回のような討論という形にはならず、合意にいけると思いますので、重ねてですね、方針についてもう一度お願いしたいと思います。

→今、ご指摘をいただいた分ですけれども、適正化に関する手順を作成する中にも入れておりますけれども、今後の協議の進め方という中で、保護者や地域住民へのプロセスということも入れております。そういったことも踏まえまして、こういった形で、今後の手順のどこに入れさせていただいていますので、出来るだけ、情報は地域の方に伝わるようにそれも出来るだけ早く伝わるようにこれからさせていただきたいと考えています。

#### <地域の方>

○清和台東1丁目に住んでおります。孫が3年生で小学校に通っております。今日の説明会で一応統合の方針は、変わらないけれども再検討するという内容でその時期になったらということで、新たな児童推計方法に基づいて、選定方法を再検討します。ということなんです川西市として、これからの川西のまちづくりとか、こういうことで若い人たちを呼び込むとか、何もやらないで、このまま人口が減ったら統廃合もまた考えますよってということなんでしょか。

川西は人口は16万以上一時期あったんですが、今、15万7000人くらいになってると思うんですよね。そういう状況の中で今、キセラが開発されて、マンションとか、色々建っておりますけれども、保育所とか幼稚園も統廃合するとか、そういうことも今、行われていて、あちこちで説明会が開かれている状況だと思うんです。そんな中で、この小学校の統廃合をいつかやるかもしれない、そういう説明だけで終わって、私たちはこの3回、今日4回目の説明会なんですけど、今までの3回の説明会が何だったのか。ということが一番疑問に思います。小学校というのは地域の拠点です。子どもたちが学習する場でもありますけれども、選挙の投票所にもなったり、また色んな震災やなんかの時には、避難所にもなりますし、今自校調理方式の給食も行われてますけれども、調理室もあって炊き出しとかも、そういうことも出来るという、本当に地域にとって大事な場所なんです。それが子ども達の減少によって1クラスが、1学年が単学級になったから、そういう状況の中で統廃合を考えるってということには納得いかないんです。

やっぱり小学校がなくなったら、地域はどんどん高齢化が進んで、すたれていきますし、子ども達の元気な声が聞こえて、私達みたいな高齢者もその声を励まされながら、街は活性化して、皆で元気に地域の中で育っていく、それが普通の姿で、昔からの小学校がある風景というか、そういう

ことだと思っんですね。そういう点でやっぱし、もっともっと慎重に統廃合を進めていただきたいと思います。それとこれからの少子化に関して思うのですけれども、キセラとかそういう所の開発よりも若い人たち、例えば新婚の人たちが、住んで、安心して、子どもを育てられるように、家賃補助とかそれから給食費を無料にするとか、小学校、お隣の猪名川町では所得制限なしに中学校卒業まで子どもの医療費も無料になっておりますが、川西はまだ小学校3年生までです。そういう点でも中学校まで、医療費を無料にするとかして、若い人たちがこの川西市に住みたい。そういうようなまちづくりを計画していただきたいと思います。その点でも、この小学校の統廃合に関しては、もっとじっくり検討していただきたいと思います。

→本当に、この統合の件に関しては、地域住民の方々に、ご心配とか本当に申し訳なく思っています。また、まちづくり視点につきましては、今、ご意見を言われたとおりに思っていますので、そういったことを、今日はご意見としてお伺いさせて頂いて、今後のまちづくりに、あるいは、教育の視点においても活かしていきたいと思っております。ありがとうございます。

#### <未就学 保護者>

○未就学児で3人の子どもがいて、これから小学校に入る子がいるんですけど、一点だけお願い事なんですけど、さっき最後3番のところの協議の進め方ということで、作成案が出来た時点で皆さんに合意形成を諮っていただけるという事だったので特段、心配はしてないんですけど、前回の説明会で意見があったとおりに、地域の皆さん集まっていたいて、一個の場で議論してもいいんじゃないかというご意見があったかと思うんですけど、それを踏まえてやっていただきたいなというのと、あと、もう一点だけ、今回の説明会もそうなんですけど、我々未就学児の親には連絡とかないような状態で多分5年6年先の小学校の統合とかっていう話だったら未就学時の親御さんの方が気になるんじゃないのかなというのが一点あるんです。一番初めの説明会は、幼稚園から通知とか来ていたんですけど、2回目3回目、まあ今回と、来なくなって近所の小学校に通ってる方に教えて頂いたような状態で、毎回ホームページのチェックしろっていうのもちょっと、しんどい話になるので、なんらかのツールを考えて頂けたらなと思っていますので、その辺、よろしく願いいたします。

→今後ね、議論をしていく場、それから未就学児等へのご連絡ということをご意見として伺って、今後その辺も改めて、いけたらいいと思います。

#### <地域の方>

○2015年に校区外希望就学制度というので、12月にも希望を出すって、全児童にプリントが配られて、選択しますかどうかというようにあったと思うんですが、統合を速やかにするために、そういうことをやったのかどうかということをしごく疑問に思ったんです。それも1

2月だったのですね。12月24日までに出してくださいって、そういうことがあったんですけど、これからも、そういうことが行われるんでしょうか。それって一応、希望の人は出すとか、全児童に対してというのは、これからも毎回行われるんでしょうか。そのことについて、ちょっとお聞きしたいと思います。

→校区外就学の制度なんですが、今回は、統合というのが昨年、先ほどの説明でもありましたけども、当時は決定しておりました。決定していることを前提にご案内が届かないということは、困るので全校一斉に特別措置をしますがどうされますかということでご案内しました。今回は、このように統合そのもの、年度を再検討することになりましたんで、来年の就学で、特別措置があるかないかといえばありません。ただ、川西は従来から校区外希望制度5パーセント枠っていうのがあります。

それぞれのご家庭で、どうしても近い学校に行きたい、校区外だけど近い学校に行きたいというお子さんであるとかそれぞれの事情がありますので、それについては、引き続きやって行っていく予定です。この先、新たな推計方法を検討の上で、この適正配置をいつやったらいいかということ、じっくり考えさせていただく時間をいただきましたんで、その中で特別措置が必要だっていうふうになれば、また、事前にご案内するということになると思います。今の段階では統合が再検討になっていますので、前回の特別措置は、もうございません。

#### <地域の方>

○私は子どもがここの小学校で、だいぶ前にお世話になって、今はここの学校に通っているものはいないんですけども、子どもは地域の宝だと思ってますよ。それで、この小学校の宝、地域の宝だというふうに思ってるんですね。大事な小学校だと思ってます。

それで私の乏しい経験からいきますと、村や町が出来たら、まず皆でお金がなくてもね、小学校から、幼稚園を造って、小学校を造ろうというふうに昔から日本はやってきたと思うんです。それを、だから、この小学校を廃止するというのが、地域の者から、そういう声があがってくるとは、とても思えないんですがね。ましてや、ここに通っている子ども達もそういうことを言わないと思いますし、だれが言い出したんですかね。これは。審議会で統合するというふうに決めたと資料に書いてありますけれども、そもそも誰が審議会で統廃合すると、ここ清小を廃止すると、いうふうに誰が諮問したんですか。教育委員会ですか。そんな教育委員会は要りませんね。私から言わせると。

それで、この団地の中で清和台の中に学校がひとつあるから、まだいいんじゃないかという感じで統合するというんですけども、真ん中に道路がはしっていますからね、危なくて、こんな道路の反対側から向こうにはいけませんよ。交通事故で。だからね、基本的にここをなくすということは、とても賛成できない。地域はなくなったら、地域はどんどん廃れていくと思うんですよね。そしたら若者が入ってこない。小学校も2つあったんが1つになったよということになってしまうと、若者があそこ行か、住もかということにならないと思うんですよね。だから教育委員会も市の市役

所の中のひとつなんだから、もうちょっとこう、地域を活性化するようにね、どんどん縮小すると地域を廃れさせると、そんなことじゃあ、ちょっと困るんですね。

だから、私はこの小学校を廃止して、向こうに南小に統合するというのは、基本的にやめてもらいたいと思っています。以上です。

→ご意見として伺っておきたいと思います。

#### <地域の方>

〇どうもすみません。最後にお時間いただきまして、今日出席者が少なく、夏休みの中で35度っというようなね、そういう中で開かれた説明会です。出席されなかった保護者の皆さんとかそういう方々とかその方々とかにどのようにお伝えするのかということとか地域にはどう知らせるのかということを、ちょっと教えて頂きたいと思います。情報がひとり歩きしたり、いろんな話がこう流れていくと思うんです。きちっと正確な情報を皆さんにお知らせするという事は、すごく大事なことです。その点がすごく気になったので、最後に言わせていただきました。

→今頂いたご意見はもっともだと思いますのでね、ちょっとまだ具体的に、どういう形ということは、この場ではお伝え出来ませんが、現時点ではホームページにはアップしておきますので、そちらの方を見て頂く。ホームページ見られてない方もあるので、その辺については、検討させていただきたいと思います。

---

終了